

## 松本深志高生も挑む 数学五輪開幕

世界各国の数学に秀でた高校生らが難問に挑む国際数学オリンピック（IMO）の開会式が7日、千葉市の幕張メッセで開かれた。112カ国・地域から1カ国最大6

人が出場。8、9日に行われるコンテストはそれぞれ制限時間4時間半で3問ずつに挑む。IMOの日本開催は、2003年以来2回目。

日本代表は6人。松本深志高1年狩野慧志さん(15)は「幼稚園のころから算数は得意だった。銀メダルが目標」と話した。

開会式では、和太鼓のパフォーマンスが披露され、自国の国旗を掲げた出場者も互いに交流。筑波

大付属駒場高(東京)3年古屋<sup>たのし</sup>楽さん(17)は「インド代表と日本のカレーについて話をした」と興奮気味だった。

IMOは1959年にルーマニアで始まり、今回で64回目。日本は90年中国大会から出場している。



国際数学オリンピックに出場する各国代表選手ら。手前左が松本深志高の狩野慧志さん＝7日、千葉市